

## 海外在留邦人に対する母子保健情報の提供に関する研究

江井俊秀<sup>1)</sup> 中村安秀<sup>2)</sup> 佐藤泰朗<sup>3)</sup> 上野則子<sup>4)</sup> 安藤一人<sup>5)</sup>  
多田由実<sup>6)</sup> 秦堅佐工<sup>2)</sup> 渡辺洋子<sup>7)</sup> 戸出二郎<sup>8)</sup> 白石幸弘<sup>1)</sup>

〔要約〕具体的な各国母子保健情報の提供を行なうために、提供されるべき情報の在りかた、提供方法について検討を行なった。まず、情報の中でも最もニードの高い海外での予防接種に関してアンケート方式による調査を行ない、とりまとめた。その結果を電話相談で試用することにより、実用のニードに応えられるかについての検討を行なった。また、次年度に予定している海外分娩施設、母子保健情報（全般）に関する調査のアンケート項目の検討を行った。

見出し語：海外在留邦人、母子保健情報、予防接種、分娩施設情報、ネットワーク

### はじめに

母子保健情報に対する海外在留邦人、海外渡航者のニードに応えるべく、実現可能なシステムの構築と適切な情報の在りかたについて、次のような検討と調査を行なった。

#### 1、情報とその入手先

提供されるべき情報としては、A-客観性を有する保健医療従事者から収集可能なもの（①海外予防接種情報、②海外分娩施設情報、③各国別医療情報）、B-主観性の高い海外生活経験のある一般の母親等から入手可能なもの（④各国別生活情報）に便宜的に区分をした。

##### ①海外予防接種情報収集

ニードが最も高い海外予防接種情報については前年度の計画通りアンケート調査を行なった。

対象：60ヶ国の保健医療専門職従事者

方法：アンケート（31項目）方式 別添

実施：平成5年3月～7月

##### ②海外分娩施設情報収集（計画）

対象：21ヶ国の国際産婦人科学会に所属する産科医

方法：アンケート（25項目）方式 別添

実施：平成6年度（予定）

##### ③各国別医療情報（計画）

対象：各国の保健医療専門職従事者

方法：アンケート方式 別添

実施：平成6年度（予定）

#### 2、情報提供の方法

既に調査を終了した、海外予防接種情報について、その結果を実際に東京都母子保健サービスセンターの電話相談で試用し、有効性の検討を行なった。

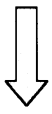
提供方法については、海外予防接種の試験的提供の結果も勘案して、印刷物で基本的、共通のニードに対応し、電話、FAXを利用して個別のニードに対応する形が効果的であると推測した。

#### 3、今後の課題

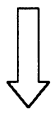
保健医療従事者からの情報は、前述の調査等により入手可能と考えられるが、海外生活経験者からの情報については入手可能なネットワークの構築を行なう必要があると考えられる。

また、今後、既に入手した情報のメンテナンス方法等の検討も進める必要がある。

1) 母子衛生研究会 2) 東京大学医学部小児科 3) 外務省診療所 4) 青年海外協力隊診療室  
5) 東京都母子保健センター 6) 愛育病院小児科 7) 東京大学医学部母子保健学教室 8) 元外務省診療所



**検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用**  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



〔要約〕具体的な各国母子保健情報の提供を行なうために、提供されるべき情報の在りかた、提供方法について検討を行なった。まず、情報の中でも最もニードの高い海外での予防接種に関してアンケート方式による調査を行ない、とりまとめた。その結果を電話相談で試用することにより、実用のニードに応えられるかについての検討を行なった。また、次年度に予定している海外分娩施設、母子保健情報(全般)に関する調査のアンケート項目の検討を行った。